



秋田わか杉国体

君のハートよ位置につけ 2007 第62回国民体育大会

2007
The 62nd National Sports Festival
AKITA
WAKASUGI
KOKUTAI



本大会が開幕間近!

各種イベントが開催されました

第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」の本大会が9月29日から開幕されます。秋田県では46年ぶりの開催となるこの大会を盛り上げようと、8月31日に「大会旗・炬火リレー」が、9月2日にはデモンストレーションとしての行事(通称:デモスポ行事)の「トレッキング」が開催されました。



大会旗・炬火リレーが46年ぶりに駆け抜ける

8月31日、秋田わか杉国体の大会旗・炬火リレーが町内を通過し、沿道にはたくさんの方々が駆け付け、応援旗を振りながら声援を送っていました。炬火とは、オリンピックの聖火にあたり、前日に藤里町で採火。「未来へつなぐ白神の火」として能代市からバトンタッチされました。

ファガスで行われた出発式では、マスケットキャラクタ「スギツチ」も応援に駆け付け、記念写真を撮る姿が見られました。加藤町長は「46年ぶりに炬火が八峰町にやってきました。思い出に残る、力強い走りで、次へバトンタッチしてください。」と激励し、いよいよスタート。雨が



降るなか、ファガスから椿地区と水沢上町から旧峰浜庁舎跡地までの2コースを炬火の白煙を上げながら、力強く走りぬけました。

炬火リレーの第一走者を務めた椿の山本太志さん(31)は「沿道からたくさんの方々の声援をもらったので、一生懸命走りました。」と、さわやかに国体に参加できた喜びを語っていました。

大会旗・炬火リレーに参加した方	
第1区(八森地区)	
炬火	山本 太志(椿)
国体旗	加藤 江莉(岩館小)
	大山 稜正(観海小)
	須藤 瑞美佳(八森小)
	奈良 克泰(八森中)
障スポ旗	石嶋 翔天(岩館小)
	石井 茜(観海小)
	菊地 生馬(八森小)
隊長	工藤 瞳子(八森中)
	熊谷 誠(浜田)
第2区(峰浜地区)	
炬火	若狭 武彦(田中)
国体旗	鈴木 萌加(岩子小)
	阿部 聖也(水沢小)
	薩摩 優花(堀川小)
	渡邊 大輔(峰浜中)
障スポ旗	佐々木 亮(岩子小)
	佐藤 七絵(水沢小)
	小沢 龍馬(堀川小)
	田村 真実(峰浜中)
隊長	今井 東長(堀)

国体デモスポ行事で初めての種目

トレッキングを開催!

ブナの森でさわやかな汗を流しました

9月2日、ブナの森公園で国体のデモスポ行事「トレッキング」が行われました。

デモスポ行事とは、都道府県代表の選手が競い合う正式競技とは違い、国体開催地である秋田県民が気軽に参加できるスポーツ行事です。日頃から親しんでいるスポーツやレクリエーションを通じて、

幅広い世代の方と交流を深め、国体に参加した感動を実感してもらおうと、本大会開催前に実施しているもので、全県で21種目開催されました。

八峰町で開催された「トレッキング」は国体のデモスポ行事としては初めて採用された種目でしたが、県内各地か



ガイドの解説を受ける参加者

解説を受け、自然の神秘や大切さを再確認していたようです。展望台に到着すると、能代市や男鹿半島、日本海を一望する景色に心を奪われていました。

昼食後に下山した参加者に、八峰町観光協会から豚汁などが振る舞われ、疲れを忘れて舌鼓を打っていました。

参加した須藤美子さん(岩館2)は「初めて登山にチャレンジしたのですが、空気も景色もきれいでとても感動しました。これからはいろいろな山に登ってみたい。」と、登



豚汁に心も体も温まった参加者たち

山の素晴らしさを実感していました。

閉会式では、町長から「いかがでしたか?」の呼びかけに、参加者からは「最高」と一斉に応えるなど大成功で幕を閉じました。



ブナの木をくぐるように登山を楽しみました

ら、登山愛好家など約130名が参加。開会式では、「ブナの森公園は水源の森百選に選ばれる豊かな森です。ブナの森から自然の力を吸収し、完歩を目指して頑張ってください。」と大会実行委員長の加藤町長がエールを送りました。

開会式終了後、登山道入り口に移動し、9班に分かれてトレッキングを開始。ブナやミズナラの森の中を約3時間かけて、各自のペースで登りました。八峰町白神ガイドの会員から、ブナの年輪の秘密や、サルのはらけ、ブナに付いているクマの爪の跡などの



展望台からの眺望!

